

令和元年度 肝炎ウイルスの感染予防に関する知識調査について

令和2年3月11日
健康福祉局薬務課

1 概要

第3次広島県肝炎対策計画において、「肝炎ウイルスの感染予防に関する認知度」を令和3年度までに50%以上とすることを重点目標にしている。この認知度を知るため、2019（令和元）年8月に知識調査を行い、2018（平成30）年6月の知識調査結果と比較した。

2 方法

リサーチ会社に登録している広島県民に知識調査を配信し、インターネットを利用して回答を得た。男女それぞれを20代以下、30代、40代、50代、60代以上の5区分に分け、計10区分において各100人の先着順で回答を受け付けた。

知識調査は全10問とし、全て正解だった場合に100点となるよう配点した（別紙1）。

3 結果

(1) 2019年知識調査結果

回答者の平均年齢は44.4歳（SD=13.9）（男性44.6歳〔SD=14.0〕、女性44.2歳〔SD=13.9〕）、平均点は41.4点（SD=23.7）（男性38.7点〔SD=23.8〕、女性44.1点〔SD=23.4〕）であった。

得点が0点だった者は62人おり、このうち31人が全ての問いに「まったく知らない」又は「わからない」と回答した。

(2) 2018年と2019年の知識調査結果の比較

全ての問いに「全く知らない」又は「わからない」と回答した者は2018年45人、2019年31人であった。以下、これらの者も含む回答者2,000人について比較した。

なお、2018年と2019年の知識調査に回答者の重複はない。

回答者の平均年齢は2018年44.7歳、2019年44.4歳であった。平均点は2018年40.4点、2019年41.4点と1点増加した（表1）。

平均点について性・年齢区分別にみると、30代男性、30代女性、40代女性を除く全区分で2019年が2018年よりも高かった（表2）。

表1 回答者の年齢と得点

	2018年			2019年		
	男性 (n=500)	女性 (n=500)	男女計 (n=1,000)	男性 (n=500)	女性 (n=500)	男女計 (N=1,000)
	平均 (SD)			平均 (SD)		
年齢	44.9 (13.8)	44.5 (13.8)	44.7 (13.8)	44.6 (14.0)	44.2 (13.9)	44.4 (13.9)
得点	37.4 (25.0)	43.3 (24.4)	40.4 (24.8)	38.7 (23.8)	44.1 (23.4)	41.4 (23.7)

表2 性・年代別の得点

性別	年代	2018年	2019年
		平均点 (SD)	平均点 (SD)
男性	～20代	27.5 (24.4)	31.9 (23.9)
	30代	40.5 (22.2)	35.5 (22.9)
	40代	34.7 (25.2)	37.5 (24.4)
	50代	41.2 (25.0)	43.1 (23.2)
	60代～	43.3 (28.3)	45.3 (24.9)
	total	37.4 (25.0)	38.7 (23.8)
	女性	～20代	35.2 (26.6)
30代		48.1 (22.8)	44.7 (24.2)
40代		46.6 (26.6)	42.5 (25.2)
50代		41.4 (23.1)	49.5 (22.8)
60代～		45.2 (22.7)	47.9 (21.2)
total		43.3 (24.4)	44.1 (23.4)
Total		～20代	31.4 (25.7)
	30代	44.3 (22.7)	40.1 (23.9)
	40代	40.7 (26.4)	40.0 (24.9)
	50代	41.3 (23.8)	46.3 (23.2)
	60代～	44.2 (25.5)	46.6 (23.0)
	total	40.4 (24.8)	41.4 (23.7)

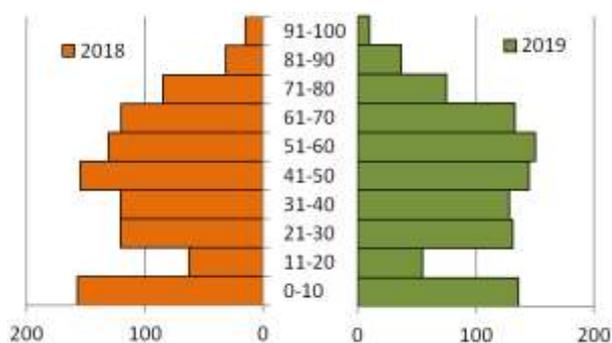


図1 知識調査の得点分布

得点分布は、2018年と2019年を比較すると図1のようになった。

知識調査の実施年別の性別得点分布は図2、さらに年代別に分けた得点分布は図3のようになった。

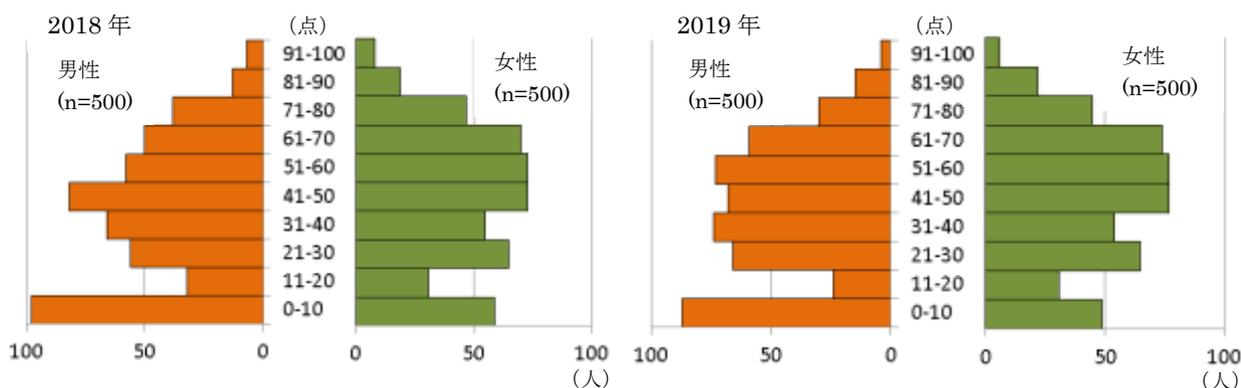


図2 知識調査の実施年別 性別得点分布

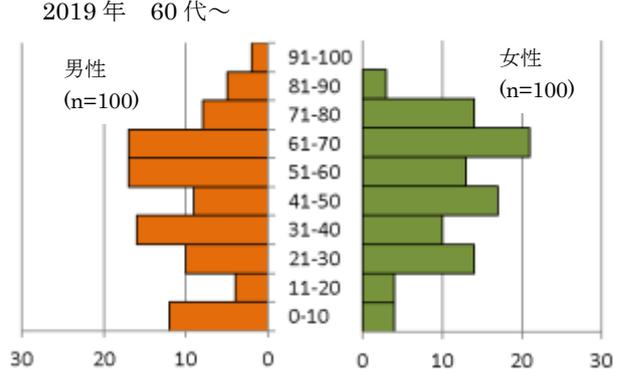
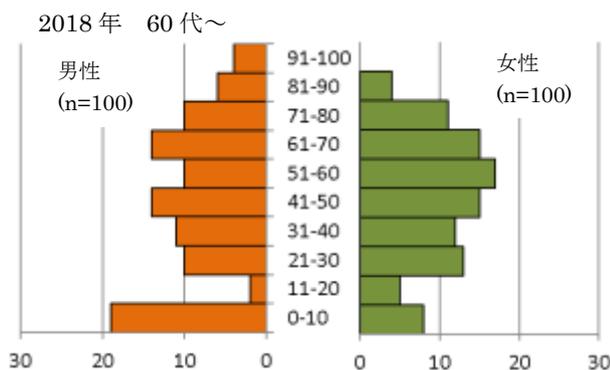
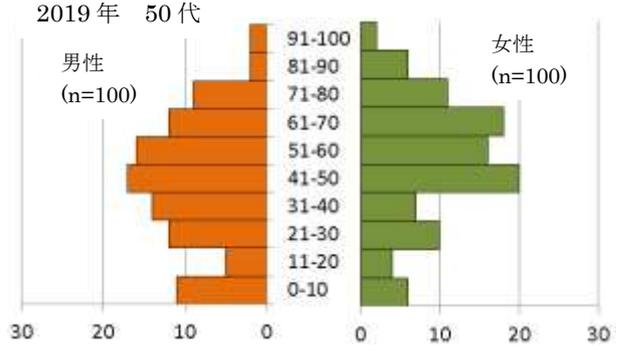
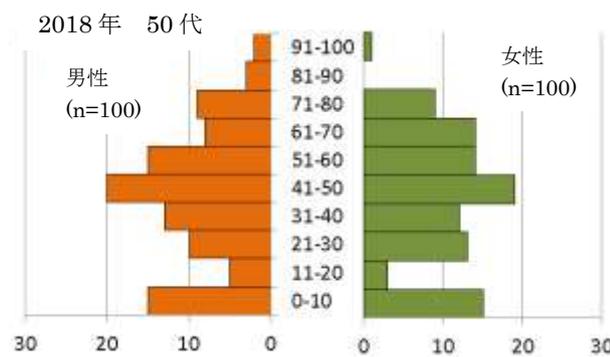
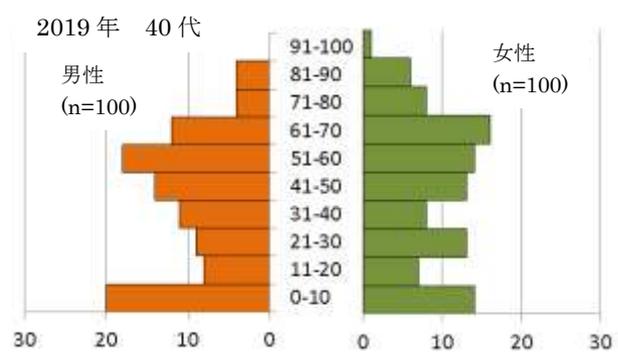
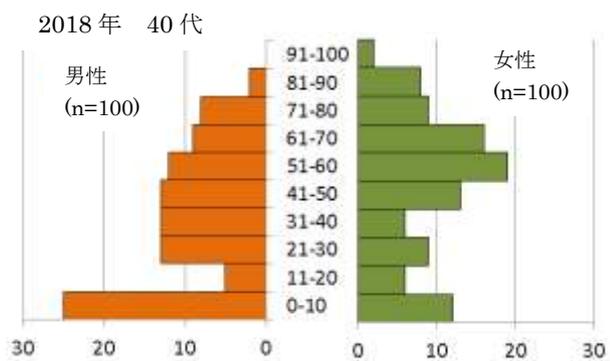
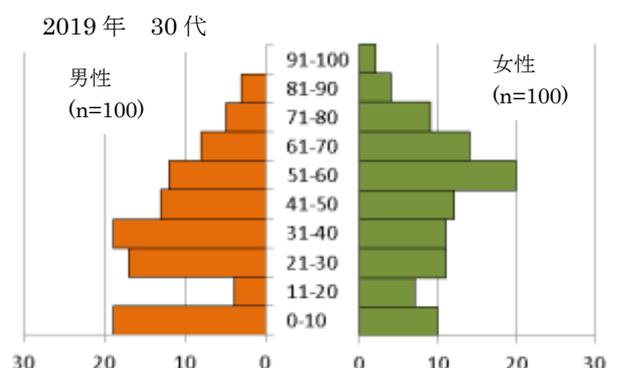
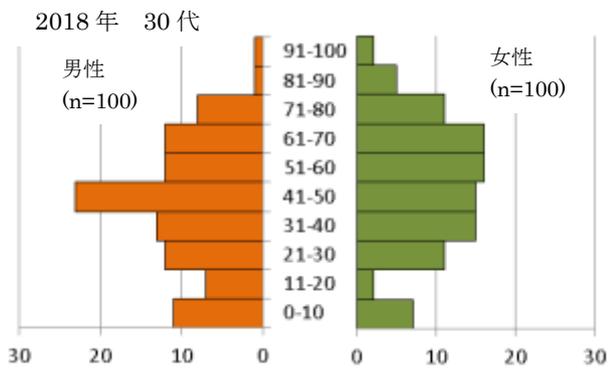
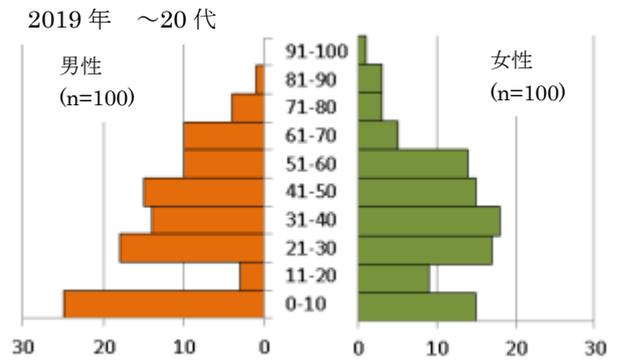
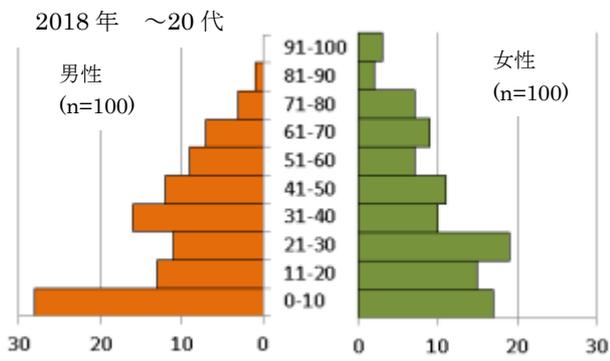


図3 知識調査の調査年別 性・年代別得点分布

4 考察

得点が0点の者はウイルス性肝炎に関心がなく啓発が必要な者であると考え、検討の対象に含めた。2019年は2018年と比べて30代男性、30代女性、40代女性を除く全区分で平均点が上昇したが、全体の平均点に有意な差はなかった（ $p=0.37$ ）。

全区分において目標である50点を達成しておらず、全体的な知識の上昇が必要だと考えられる。

性・年代別に考えると、20代男性、30代男性、40代男性及び20代女性の得点が低く、これらの区分に特に啓発が必要であることが示唆された。

2018年の結果から「啓発が特に必要な世代は20代以下である」「全体的に女性よりも男性に対して啓発が必要」と考え、2018年の知識調査から2019年の知識調査までの間に、主に表3のような県の関わる新たな取組を行った。

マツダスタジアムや県立図書館での啓発や、テレビ放送やウェブを利用した啓発は若い世代や健康に関心の薄い層にも啓発できるよい機会と考えられる。

表3 2018年知識調査と2019年知識調査の間に実施した啓発活動

実施年月日	内容
2018.7.28	肝炎デー啓発活動 ・マツダスタジアムと広島駅前で呼びかけ ・マツダスタジアム内大型スクリーンで啓発動画
2019.6.18～9.1	広島県立図書館 資料展示 ・肝炎に関するテーマ展示と蔵書の貸し出し
2019.7.3	医療機関による啓発活動 ・マツダスタジアム内にブースを設け呼びかけ等
2019.7.18	肝炎に係る三者の連携協定締結 ・複数ウェブニュースに取り上げられた
2019.7.22～28	医療機関内による啓発活動
2019.7.23～25	マツダスタジアム内大型スクリーンで啓発動画放映
2019.7.26	肝炎デー啓発活動 ・広島駅で呼びかけ、ニュースでも放送
2019.7.28	広島大学病院による市民公開講座
2019.7.29～8.30	医療機関による啓発活動
2019.8.1	医療機関による啓発活動

5 まとめ

比較的若い世代の特に男性に啓発が必要であることが示唆された。そこで、令和2年度は教育委員会等へ啓発に関して相談し、若年層への啓発を強化する予定である。

また、2019年知識調査以降も医療機関と連携して健康祭り等で啓発を行ったほか、2019年7月にウイルス性肝炎に関する連携協定を締結しており、当該協定に基づく啓発活動等を2020年度に実施予定である。今まで啓発を受けていない可能性のある層にも啓発を行うため、引き続き、各所と連携して積極的な啓発を行っていきたい。